

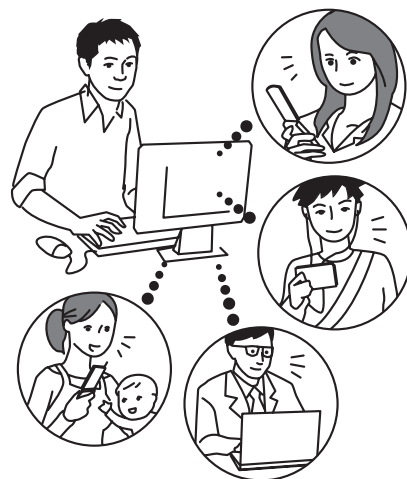
小さな力を集めて大きな力に！

ふんばろう東日本支援プロジェクト

Facebook や Twitter を活用した全く新しい社会貢献の仕組み
それがふんばろう東日本支援プロジェクトです。

ふんばろう東日本支援プロジェクトのはじまりは「**必要なものを 必要な分 必要な人へ**」をテーマとした**物資支援**でした。被災地から必要なものを聞き取り、それをサイトにUPし、それを見た支援者が直接物資を送る。そのシステムは、多くの支援者に利用され、約3,000世帯、約200団体に支援物資を届けることができました。Amazon「ほしい物リスト」からは、海外からの支援も含め1日平均100個の物資が送られ、累積の支援は2012年2月現在で約25,500個(約4,500万円)となりました。

また、避難所から仮設住宅へ生活の場が移るにつれ、自宅避難者へは家電がなかなか支援されないという問題が起こり始めます。そこで**家電プロジェクト**が立ち上がりました。扇風機6,000台、コタツなどの冬物家電5,000台をはじめ、洗濯機や冷蔵庫、掃除機、炊飯器、テレビ、アイロンなど約20,000個を、家電を支援されていない被災者にお届けしました。



被災地の状況は刻一刻変化します。そこに住む人々は、それぞれに問題を抱え、様々な支援を必要としています。私たちふんばろう東日本支援プロジェクトは、そのような各々の問題に対して必要な支援を行うプロジェクトを立ち上げて活動しています。裏面に紹介したプロジェクト以外にも、福島県や周辺各県の方がご自身で放射線量を測れるように、線量計の無償貸出を行う**ガイガーカウンタープロジェクト**、被災した方々に支援者からの心のこもった手紙やはがきを直接届ける**おたよりプロジェクト**、全国から届けられる暖簾やアクリルたわしなどハンドメイドグッズを様々な支援とともにお届けする**ハンドメイドプロジェクト**、音楽や演劇といったパフォーマンスを通して笑顔をお届けする**エンターテイメントプロジェクト**、など、様々な支援活動を行っています。そして被災地に人材を育て、地元企業の復興につながるよう支援する**就労支援プロジェクト**も本格始動しました。



震災から1年、いまだ被災地は復興にはほど遠い状況に置かれています。

必要な支援を必要な人たちへ。ふんばろうには多くの支援の形があります。東北に支援をしたいが、なにをしたらいいかわからない、と思っている方はたくさんいらっしゃると思います。ぜひ一度、ふんばろうの活動をホームページでご覧ください。そしてお力添えいただけるプロジェクトがあれば、ぜひ御支援賜りますよう、よろしくお願い致します。

**ふんばろう東日本支援プロジェクトをぜひ御支援ください。
支援金を募集しております。**

りそな銀行 神楽坂支店 普通 1581780 口座名義：ふんばろう東日本支援プロジェクト

「ふんばろうサポータークラブ」のご案内

被災地を応援しつつ、あたらしいカタチ。ランチ2回ぶんの寄付、はじめてみませんか？

ふんばろうサポータークラブ



ふんばろう東日本支援プロジェクトでは、毎月ラクに寄付ができる「ふんばろうサポータークラブ」がスタートしました。寄付金額は、1口1,000円から自由に設定可能です。指定口座から毎月定額が自動引き落としされるため、毎回手続きをする手間がかかりません。寄付金をスタッフの給与にすることは一切ありません。すべて被災地・被災者支援に使わせていただきます。

お申し込み・
お問合せ

<http://wallpaper.fumbaro.org/supporter>

☎ 050-3638-2860 ✉ supporter@fumbaro.org

ふんばろうサポーター

検索

ふんばろう東日本支援プロジェクトは、 様々な形で被災地支援に取り組んでいます

雇用創出・心のケア・教育 これが今後のふんばろう東日本支援プロジェクトのテーマです。
それぞれのプロジェクトで、直接被災地支援につながる支援金を募集しております。
ご支援いただけるプロジェクトがございましたら、ぜひお問い合わせください。

重機免許取得プロジェクト

<http://wallpaper.fumbaro.org/licenc>

岩手県陸前高田市で開催した第1弾では121名が、宮城県岩沼市で開催した第2弾では92名が受講。そして、現在は第3弾を、同じく宮城県岩沼市で開催中です。今回は126名の方へ重機免許取得費用を全額支援します。被災地の復興に直接貢献しつつ、被災者の就労支援につながる支援です。



ミシンでお仕事プロジェクト

<http://wallpaper.fumbaro.org/machine>

このプロジェクトは被災地の女性たちにミシンを贈ることで元気になってもらう「生きがい支援」と、意欲のある方には縫製の仕事を紹介する「自立支援」の2つを主な目的としています。これまでに12回のミシン講習会を実施し、423人にミシンをお渡ししました。その中で生まれたのが「南三陸ミシン工房」。様々な商品を作り、「南三陸ミシン工房」ブランドとして発信していきます。



PC設置でつながるプロジェクト

<http://wallpaper.fumbaro.org/infrastructure>

ふんばろうが持つ約3,000カ所の被災地とのネットワークを生かし、多くの企業様の御協力のもと、被災地の仮設住宅の集会所に一通りのPC環境を整える活動をしています。街も車もない



地域において、ネットスーパーで買い物ができるようになれば、格段に利便性が高まります。また、Skypeを利用した遠隔授業を行い、学習環境を提供することも可能になります。

※仮設の規模により変動します

ご協力いただいている企業様：ヤフー株式会社、日本マイクロソフト株式会社、トレンドマイクロ株式会社、株式会社アイ・ディ・ケイ 他。

漁業支援プロジェクト

<http://wallpaper.fumbaro.org/fishery>

皆様からの支援金で船の斡旋、漁具の提供等を行う取り組みです。地元の皆様にご協力いただき、養殖棚のロープを固定するお



もり（通称サンドバッグ）を製作する支援も行っています。また、南三陸町の漁師さんたちに漁船や漁具を支援する活動は現在、南三陸町漁業再生支援協会へと発展しています。

手に職・布ぞうりプロジェクト

<http://wallpaper.fumbaro.org/zouri>

布ぞうりは見た目も鮮やかな新しい室内履き。贈り物としても喜ばれます。このプロジェクトではこれまでに南三陸、陸前高田で布ぞうり講習会を実施。すでにクオリティの高い布ぞうりを作れるようになり、ふんばろうのイベントなどで販売しています。まずは作る喜び、そして収入を得られる喜びへ。布ぞうりの職人が育つまでを支援します。材料となる古着のTシャツ、鼻緒用のハギレも募集しています。



学習支援プロジェクト

http://wallpaper.fumbaro.org/gakushu_support

震災により被災された家庭の子どもたちを対象に、インターネットによる映像授業の無料配信や学生ボランティアを中心とした指導員を派遣しての学習会（学び場☆ふんばるんば）の開催といった学習支援を展開しています。また受験情報や奨学金情報などの提供も行っています。



ふんばろう東日本支援プロジェクト | <http://fumbaro.org/>

〒169-8050 東京都新宿区西早稲田 1-6-1 早稲田大学 9号館 6階 604 ☎ **050-3638-2860**



「ふんばろうサポータークラブ」のご案内

被災地を応援しつづける、あたらしいカタチ。
ランチ2回ぶんの寄付から、始めてみませんか？



「ふんばろうサポータークラブ」って？

「被災地のために、何かしたい!」「でも、実際にボランティアで現地に行くのは難しい…」
「それでも、やっぱり何かしたい!!」そんな、みなさまの思いを形にするのが、毎月ラクに寄付ができる「ふんばろうサポータークラブ」です。

寄付金額は、ランチ2回ぶんの1口1,000円から自由に設定可能。指定口座から毎月定額が自動引き落としされるため、毎回手続きをする手間もかかりません。お預かりした支援金は、「ふんばろう東日本支援プロジェクト」のそれぞれの活動を通し、すべてムダなく被災地・被災者支援に使わせていただきます。スタッフの給与にすることは一切ありません。未曾有の災害には“継続的支援”が必要です。ぜひ長期的なサポートに、ご協力ください。

「ふんばろう東日本支援プロジェクト」とは

ふんばろう東日本支援プロジェクトは「被災地支援」を目的とした市民が集まり、被災者のためにできることをすべてするという志のもと、無償で活動している「プロジェクト」です。2011年、15万5千品目に及ぶ物資を災害地に届けた「物資支援プロジェクト」からスタートし、その後、被災地の環境の変化に対応した様々なプロジェクトを立ち上げ、復興のために今できる最善の活動を行っています。

現在は、「漁業支援・サンドバックプロジェクト」や「ミシンでお仕事プロジェクト」など被災地の自立支援・心の支援に力を入れ、地元のみなさんと一緒に、未来につながる生活基盤の復興も目指しています。

寄付金は、何に使われるの？

ふんばろう東日本支援プロジェクトでは、
さまざまなプロジェクトが被災地支援のために活動しています。

みなさまからお預かりした大切な支援金は、被災地で需要がある重機免許の取得費用や、パソコン関連の機器支援、切手代、印刷費、現地講習開催費などの諸経費のほか、被災地への支援活動全般に使わせていただきます。

ふんばろう東日本支援プロジェクトでは、被災地の自立を支援するため、これからも継続的な支援を必要としています。支援から始縁へ。そして縁から絆へ。ふんばろうサポータークラブでのご支援参加を、どうぞよろしくお願い申し上げます。

現在進行中の、さまざまなプロジェクトにおいて大切にに使わせていただきます。

【ミシンでお仕事プロジェクト】【手に職・布ぞうりプロジェクト】

ワークショップ開催・販売委託・材料支援による就業支援・心の支援プロジェクト

【学習支援プロジェクト】

被災地の学校などで、こどもたちの学習を支援サポート

【PC設置でつながるプロジェクト】【緑でつながるプロジェクト】

仮設住宅の集会所などにパソコンや花・野菜の苗を支援し、ほっとする空間をお手伝い

【漁業支援・サンドバックプロジェクト】

漁港の整備やワカメ養殖に使用する「サンドバック」の縫製・設置支援

【現地支部(福島・宮城・岩手支部)】

各プロジェクトが現地で活動する際のサポートやきめ細かい現地活動を行っています

その他、【エンターテイメント】【ハンドメイド】【おたよりプロジェクト】など、心の支援につながるプロジェクトや、気軽にワンクリックで支援できる仕組みの【動物班】【ふんばろう商店】など、50以上の班・プロジェクトが、被災地の復興支援のため活動しています。(2012年7月現在)



2012年春、10万枚の生地を用意し、カット・縫製支援をするボランティアを募集、夏に東北の漁師さんへお届けする活動を行っています。